

人 ピープル



3DCGムービーで入賞
川上 直人さん(20) 鶴が谷町

千葉県の幕張メッセで開催された「国際放送機器展」で、出展メーカーが主催する「ムービーコンテスト」

ゲームソフトの作家を目指して

のCGムービー部門に、作品『リサイクリング』が入賞した。
「受賞作は三次元コンピュータ

グラフィックスで制作した一半ほどの短編です。今、専門学校でデジタルグラフィックスコースを専攻していて、放課後や土日曜の自主研究の時間を利用し、約三週間で応募作品を作りました。入賞できて大変うれいすね」

作品の主人公は捨てられたテレビなどから出来たゴミのロボット。表情や動きに、愛きようのあるキャラクターだ。

「ロボットが緑豊かな森の中を歩いているとき、道路脇にポイ捨てされた空き缶を見つめます。それをゴミ箱へ片付けた後、自分自身もゴミ箱へ入るといふストーリー。リサイクルによって、地球の自然環境を守っていかうというメッセージを込めました。でも、説明不足で十分に表

現できず、その点がちょっと残念」

小さい時から絵や漫画を描くことが大好き。小学生のころはテレビゲームにも熱中した。

「頭の中にあるものを具体的な形にして人に伝えるには、コンピュータグラフィックスが一番、特に自分で考えたキャラクターに表情や動きをつけ、自分の思うように作り上げていける点が魅力です。命を吹き込んでいくようなものかな」

三月の学校卒業後は、東京のゲーム制作会社へ就職が内定している。

「子どものころから、ゲームソフト作家になることが夢なんです。それに向け、最初の目標が実現できました。自分が制作したコンピュータゲームを、多くの人が楽しんでくれたらいいですね」とほほ笑んだ。

学校じぶん 読み聞かせで 本に親しむ



桃川小学校

十二月十一日、桃川小では、朝の時間を利用して「読み聞かせ」が行われました。平成十二年度から同校の読み聞かせの会の協力で、月一、二回実施しているもの。児童たちに、本に親しむことの大切さを感じてもらうことが狙いの一つ。

児童たちは講師を囲むようにして座ります。それぞれのクラスごとに分かれて、早速、読み聞かせを開始



静かに時間が流れていきます。用意された本の読み聞かせが終わると、児童たちは次々と手を挙げて、真剣な表情で感想を発表していました。

Pick up ぴっくあつぷ

全国大会への意気込み

十一月十三日
前商サッカー部
が、市役所を訪
れました。同部
は本県の代表と
して、全国高等
学校サッカー選
手権大会への出
場が決まってい
ます。まず、沼
野部長が萩原市
長に同大会への
出場を報告。そ
の後、選手一人
ひとりが「国立
競技場でプレー



できるよつベスト4を目指して頑張り
ます」など、意気込みを語りました。
初戦は一月二日、宮崎県代表・日章
学園との対戦です。